

能代市「こどもまんなかエリア」整備基本計画

能代市

目次

はじめに	1
第1章 前提条件の整理.....	2
1-1 本計画の位置づけ.....	2
1-2 市周辺のこどもの遊び場等の整備状況.....	6
1-3 敷地条件	9
第2章 先進事例の把握.....	15
第3章 課題の抽出	19
第4章 基本理念の設定.....	20
第5章 導入機能・施設規模	21
5-1 導入機能・設備.....	21
5-2 利用対象・検討事項	24
5-3 施設規模の設定.....	25
5-4 ソフト事業の提案.....	27
第6章 基本計画図	28
第7章 事業実施に向けて.....	29
7-1 概算整備費	29
7-2 事業スケジュール.....	29
7-3 活用が見込まれる補助金等の整理.....	30
資料編.....	31
資料1 子育て世帯アンケート調査.....	31
資料2 子育て支援団体等へのヒアリング調査.....	35
資料3 能代市こどもの遊び場整備基本方針について	37
資料4 こども・子育て交流施設整備9つの提言.....	41
資料5 これまでの経緯	49

本計画における「子ども」及び「こども」の表記については、次のとおりとします。
・法令、既存の計画、施設名称等にて「子ども」を表記する場合は、そのまま表記します。
・上記以外は「こども」と表記します。

はじめに

全国的に人口減少や少子高齢化が進み、核家族化や地域コミュニティの希薄化等、子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした変化の中で、子育て世帯の孤立感は深刻化しており、親子が安心して過ごし交流できる場や仕組みの構築が強く求められています。

また、近年の気候変動に伴う猛暑、集中豪雨、大雪の影響や、市街地へのツキノワグマの出没等により、子どもたちが元気いっばいに身体を動かせる機会は、年間を通じて大幅に制限されています。こうした背景から、天候に左右されず遊べる全天候型の遊び場の需要が全国的に高まっています。

国においては、令和5(2023)年にこども家庭庁を設置し、こども大綱を決定しました。これにより、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指していくこととしています。

能代市(以下「本市」という。)においても、こども大綱で示された基本的な方針を踏まえ、令和6(2024)年度に「能代市こども計画」を策定し、全てのこども・若者が自立した個人として権利が保障され、将来にわたって健やかに成長できるよう、社会全体で支え合うまちの実現を目指しています。同計画策定時のニーズ調査では、子育て環境に対する要望として「屋内のこどもの遊び場の確保」が挙げられるなど、本市においても全天候型の遊び場の整備が求められています。

これらのことから、本市では屋内のこどもの遊び場の整備を最重要課題と捉え、令和6(2024)年度に「能代市こどもの遊び場整備基本方針」(以下「基本方針」という。)を策定しました。こどもや保護者、地域がともに育ち合う環境を形成することを目的に、屋内外の遊びや体験の場が一体となったこどもまんなかエリアを形成し、その中核となる施設として「こどもまんなか交流施設」(以下「本施設」という。)を整備することにより、こどもの多様な活動や世代間の交流を促進し、地域全体で支え合う子育て支援の充実を図ることとしました。

「能代市こどもまんなかエリア整備基本計画」(以下「本計画」という。)は、この基本方針を踏まえ、導入機能や施設規模、配置計画等を整理し、具体化するために策定します。

第1章 前提条件の整理

1-1 本計画の位置づけ

(1) 計画の位置づけ

本市の最上位計画である第2次能代市総合計画において、「子どもを生み育てやすい環境づくり」を重要課題として位置づけており、市では子ども・若者に関連する政策に関する総合的な計画として、能代市子ども計画を策定しています。

本計画は、屋内のこどもの遊び場や子育て支援の拠点の整備について、能代市子ども計画に即した個別計画として作成します。

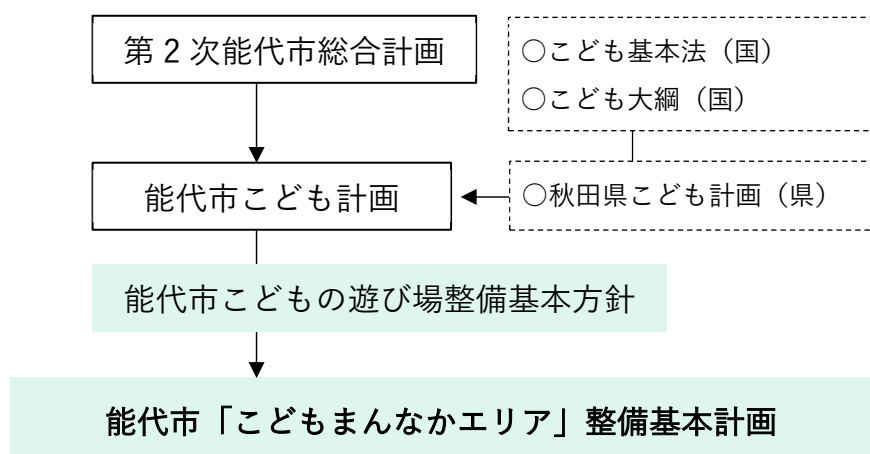


図 本計画の位置づけ

(2) 上位・関連計画及び法令等

1) 第2次能代市総合計画

計画期間	前期 平成 30(2018)年度から令和 4(2022)年度までの 5 年間 後期 令和 5(2023)年度から令和 9(2027)年度までの 5 年間
基本理念	「幸福共創」 優れた地域資源を十分に活用し、“こころ”の豊かさ、“からだ”の豊かさ、“もの”の豊かさを実感できるふるさと能代を目指して、幸せをともに創っていかうとする「幸福共創」をまちづくりの基本理念とします。
将来像	「“わ”のまち 能代」 ・健やかで感謝と思いやりにあふれる 人と人との“和”によるまち ・特色ある地域の環境を最大限に活かす 地域資源で活力を生む“環”によるまち ・地域の誇りと生活の基盤を将来へ引き継いでいく 未来へつなぐ安心の“輪”によるまち
関連政策 (抜粋)	基本目標 2 笑顔で人が輝くまち 政策(1)地域や社会で支える子ども・子育て ・結婚や出産を望む人が、希望を叶えられること。 ・地域で安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること。 ・地域住民と子どもの交流があり、子どもが心身ともに元気で健やかに成長すること。 政策(2)次代を担う子どもを育てる学校教育 ・子どもが良好な環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること。 ・学校が地域の活動の場として開かれ、家庭や地域と連携した教育が進むこと。 ・子ども一人ひとりが命の大切さを学び、人や社会との関わり方を身に付けられること。

2) 能代市こども計画

策定年次	令和 7(2025)年 3 月
計画期間	令和 7(2025)年度から令和 11(2029)年度
基本理念	全てのこども・若者の今と未来をみんなで支え合うまち のしろ
基本的な視点	<ol style="list-style-type: none"> 1. こども・若者の権利や個性を尊重し、対話を通して、こども・若者の最善の利益を図る 2. こども・若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応する 3. 全てのこども・若者が安心して生活できる成育環境を整える 4. こども・若者と子育て当事者を社会全体で支援する
関連施策 (抜粋)	<p>基本目標 1 こども・若者が健やかに成長できる環境の整備</p> <p>(2)多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども・若者の健やかな成長のため、年齢や発達に応じた豊かな遊びや体験活動を推進します。 ・こどもの多様な遊びや体験活動を確保するため、全天候型の遊び場の整備を進めます。 <p>(5)こどもの誕生前から幼児期までのこどもの成長の保障と遊びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」に基づき、こどもの発達への理解促進を図り、健やかな育ちを保障するための取組を推進します。 ・子育て制度や各種施策等、子育て支援情報の効果的な提供に努めます。 ・こどもの多様な遊びや体験活動を確保するため、全天候型の遊び場の整備を進めます。 <p>基本目標 3 子育てを社会全体で支える体制の充実</p> <p>(2)地域の実情に応じたこども・子育て支援事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての不安解消や仕事との両立支援、日本語の指導等、地域における多様なニーズに応じたこども・子育て支援事業を展開します。 ・子育て制度や各種施策等、子育て支援情報の効果的な提供に努めます。 ・保護者の子育てを地域全体で支えるため、子育て支援拠点の整備を進めます。

3) 能代市過疎地域持続的発展計画

策定年次	令和 7(2025)年 8 月変更
計画期間	令和 3(2021)年度から令和 7(2025)年度
関連施策 (抜粋)	<p>③ 出合い・結婚・出産・子育てに関する望みがかなう地域をつくる</p> <p>幼児教育・保育・子育て支援体制の充実や子育て世帯の経済的負担の軽減、ワーク・ライフ・バランスに対する企業の理解促進等を通じ、出産・子育てに関する望みがかなう地域をめざします。 ※次期計画に本施設の整備について記載予定</p>

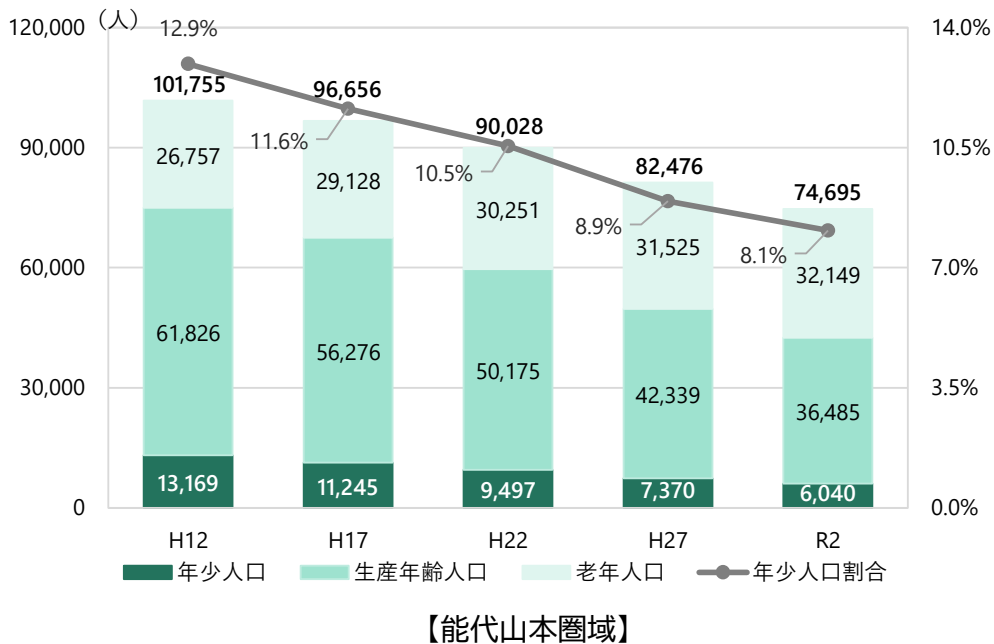
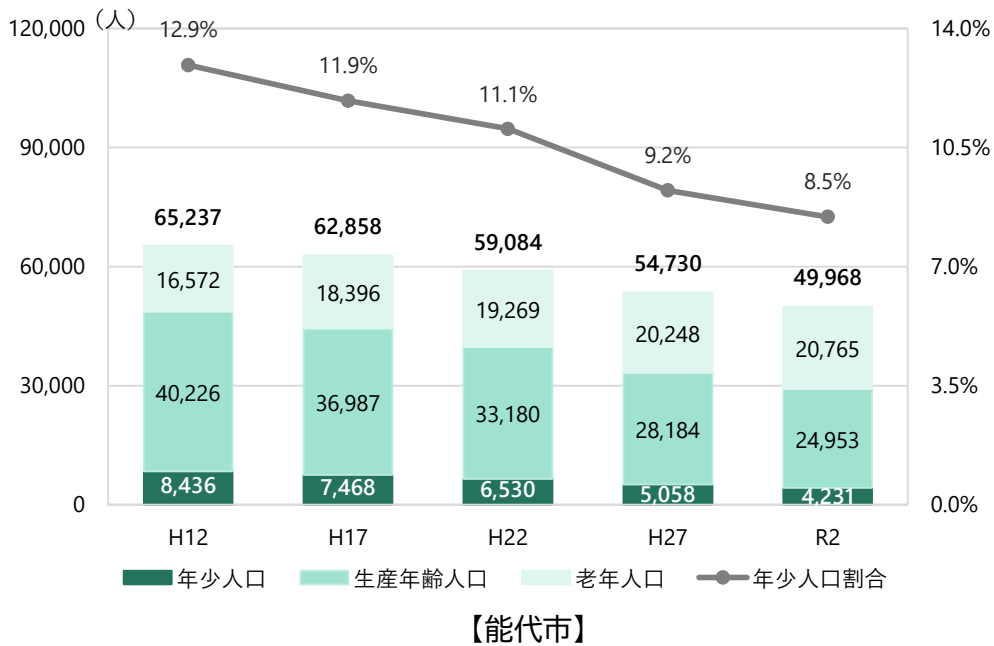
4) 能代市こどもの遊び場整備基本方針

策定年次	令和 6(2024)年 11 月
基本 コンセプト	<p>○基本コンセプト こどもをまんやかに遊びを通してみんながつながり育ち合う 「こどもまんなかエリア」の創出</p> <p>○3つの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの健やかな成長を促す遊びの環境づくり ・保護者が安心して子育てができる環境づくり ・地域の多様な世代が関わる子育て環境づくり <p>○中核施設 「こどもまんなか交流施設」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では、こどもの健やかな育ちと保護者の子育てを地域全体で支援し、こどもの誕生や成長を共に喜び合える「こどもまんなか」社会を目指している。 ・多様な遊びや体験活動は、こどもの健やかな成長の原点といわれる。屋内外での自然体験や運動遊び、お絵描きやものづくりなど五感を使った遊びの環境を整備し、こどもの健やかな育ちを促す。 ・保護者がゆとりをもち安心して子育てができるよう、妊娠期から子育て期まで相談、憩い、交流や学びの機会を切れ目なく提供し支援する子育て支援拠点を整備する。 ・こどもをまんやかに、保護者、地域の多様な世代が、遊びや体験を通して関わり合い、育ち合える環境を整備するため、屋内外の遊びや体験施設が隣接する空間を「こどもまんなかエリア」とし、各施設の有機的な連携を進める中核施設として「こどもまんなか交流施設」を整備する。
整備候補地	<p>既存の遊び場・子育て関連施設等と周辺との繋がりのほか、交通アクセス、十分な面積の確保が可能な市有地であることなどの視点を考慮し、「能代河畔公園」を整備候補地とする。</p>
整備方針	<p>○利用対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設は、高校生以下のこども及びその保護者を利用対象とする。 ・遊戯エリアは、小学生以下のこどもを利用対象とする。 ・市民（こども、保護者）の利用を前提とした施設とする。（市外からの利用も妨げない。） ・就学前施設等の団体利用にも配慮する。 <p>○核となる機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内遊戯エリア ・子育て支援に関する行政機能 ・保護者同士の交流空間、中高生の居場所づくり

1-2 市周辺のこどもの遊び場等の整備状況

(1) 人口推移

平成12(2000)年からの人口推移をみると、能代市、能代山本圏域ともに総人口は減少傾向にあります。年少人口も同様に減少しており、令和2(2020)年時点の年少人口は、能代市が4,231人(年少人口割合8.5%)、能代山本圏域が6,040人(年少人口割合8.1%)です。



※年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上

出典：各年国勢調査

図 年齢区別の人口・年少人口割合の推移

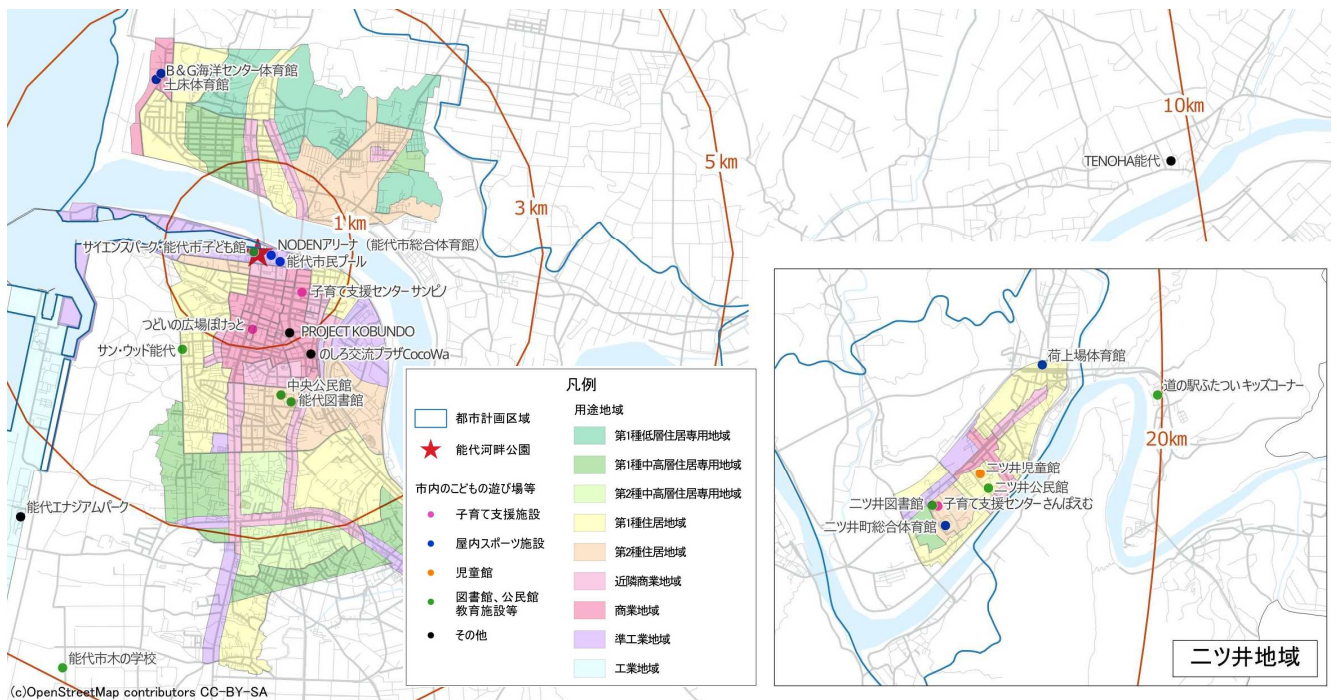
(2) 市内のこどもの遊び場等の立地状況

本市の子育て支援センター、屋内スポーツ施設、屋内遊び場等を有する施設について整理します。本市には、子育て支援施設が3施設、屋内スポーツ施設が6施設、児童館が1施設、図書館が2施設、公民館が2施設、教育施設等が4施設、その他施設が4施設あります。

表 市内のこどもの遊び場等

施設区分	施設名	施設区分	施設名
子育て支援施設	子育て支援センター サンピノ	公民館	中央公民館
	子育て支援センターさんぼえむ		二ツ井公民館
	つどいの広場ぼけっと	教育施設等	サイエンスパーク・能代市子ども館
屋内スポーツ施設	NODENアリーナ（能代市総合体育館）		道の駅ふたつい キッズコーナー
	二ツ井町総合体育館		能代市木の学校
	荷上場体育館		サン・ウッド能代
	土床体育館	その他	能代エナジウムパーク
	B&G海洋センター体育館		PROJECT KOBUNDŌ
	能代市民プール		のしろ交流プラザCocoWa
児童館	二ツ井児童館		TENOHA能代
図書館	能代図書館		
	二ツ井図書館		

出典：国土数値、能代市 HP、地図検索サイト



出典：国土数値、能代市 HP、地図検索サイト

図 市内のこどもの遊び場等

(3) 近隣自治体の屋内のこどもの遊び場等の立地状況

近隣自治体においては、八峰町の「ポンポコ山公園パークセンター」や三種町の「子育て交流施設みっしゅ」といった屋内のこどもの遊び場が整備されています。一方で、県北地区の中核を担う本市には、「サイエンスパーク・能代市子ども館」があるものの、その主な目的は学習施設となっており、行政による屋内のこどもの遊び場の整備が求められています。

表 近隣自治体の屋内のこどもの遊び場等

市町村	施設名
八峰町	ポンポコ山公園パークセンター
三種町	子育て交流施設みっしゅ
大館市	ニプロハチ公ドームパークセンター子どもの遊び場
大館市	市民交流センター木育ひろば木のぬくもりホール
大館市	秋田県北部老人福祉総合エリアキッズコーナー
北秋田市	市民ふれあいプラザねまーる広場
北秋田市	子育てサポートハウスわんぱあく
北秋田市	合川公民館キッズコーナー
鹿角市	コモッセ 子ども未来センター
男鹿市	男鹿水族館GAO
八郎潟町	子育て支援センターにゃんぱち子育てらんど
井川町	子育て支援多世代交流館みなくる

出典：各施設 HP、地図検索サイト



出典：各施設 HP、地図検索サイト

図 近隣自治体の屋内のこどもの遊び場等

1-3 敷地条件

基本方針において、既存の遊び場・子育て関連施設等の周辺との繋がりのほか、交通アクセス、十分な面積の確保が可能な市有地であることなどの視点を考慮し、能代河畔公園を整備候補地としています。

(1) 整備候補地の検証

1) 周辺施設との連携・子育て支援体制の強化

能代河畔公園内には、既に屋外大型遊具のある子ども広場、サイエンスパーク・能代市子ども館、NODEN アリーナ（能代市総合体育館）等の施設が集積しています。さらに、本施設に行政機能（子育て支援課や子育て支援センター）や休憩スペースを整備することで、屋内外の遊び場にとどまらず、学習施設や体育施設との連携による多様な遊びや体験活動の創出が期待されます。

また、妊娠期から子育て期に至るまで、相談・憩い・交流の機会を切れ目なく提供することで、子育てを総合的に支援する拠点となります。



図 エリア全体のゾーニング図

2) 市有地への新規整備の妥当性

本施設は、本市における子育て支援拠点としての重要な役割を担います。子どもが元気いっばいに遊べる広さ（面積及び高さ）の確保、建物の強度、騒音対策等を総合的に考慮すると、ゆとりのある敷地に新たに整備することが妥当であると考えます。

また、整備候補地を市有地とすることにより、用地取得費を抑え、工期を短縮することが可能となります。

3) アクセシ性

既存駐車場と一体的に再整備を行うことで、十分な駐車場面積を確保できます。幹線道路に隣接しており、大型バスでの施設利用にも適しています。

また、バス停が近く公共交通を利用しやすいほか、自転車でのアクセス等、多様な手段でのアクセスが可能です。

4) 周辺環境への影響

施設の特性上、子どもたちの賑やかで活気ある声が周囲に聞こえます。整備候補地は、北側は米代川、東側は道路に面しており周辺に住宅地がないため、騒音トラブルのリスクが極めて低く、子どもたちが元気いっぱいに遊べる環境です。

5) 安全性の確保

整備候補地は、最大クラスの津波が悪条件下（満潮時等）において発生した場合に想定される浸水深 9.0m程度のエリアに指定されています。本施設では、津波発生時には能代公園又は能代第一中学校グラウンドへ避難することを基本とします。今後は、避難計画の策定、明確な避難路の確保、定期的な避難訓練を実施します。

(2) 整備候補地の現況

1) 能代河畔公園について

能代河畔公園は、能代市川反町に位置する面積約 10.5ha の都市公園です。北側には一級河川の米代川が流れています。公園の周辺には、市役所や学校等の公共施設のほか、イオン能代店等の商業施設も立地しており、市民の憩いの公園として親しまれています。



図 公園マップ

能代河畔公園は能代大橋を境に東西にエリアが分かれています。能代大橋より西側には、芝生広場、ロケットを模した大型遊具のある子ども広場、プラネタリウムのあるサイエンスパーク・能代市子ども館、屋外のバスケットゴール等が整備されています。能代大橋の東側には NODEN アリーナ（能代市総合体育館）、市民プール、多目的広場等が整備されています。

GPS 位置情報ビッグデータ (KDDI Location Analyzer[※]) から集計された推測値では、令和 6 (2024) 年度の 15 分以上滞在した来訪者数は、年間約 124,000 人、一日あたり約 340 人と推計されました。



芝生広場



子ども広場



サイエンスパーク・能代市子ども館

図 能代河畔公園の現況写真

※KDDI Location Analyzer が提供する集計結果であり、GPS 位置情報ビッグデータから独自に集計した推測値です。設定条件は、「滞在時間 15 分以上」及び「全人口推計値（日ユニーク）」となっています。20 代からを対象に集計しているため、10 代以下の来訪者数は含まれていません。

2) 付帯施設について

能代河畔公園に整備されている、サイエンスパーク・能代市子ども館、NODEN アリーナ（能代市総合体育館）、市民プールについて施設概要を整理します。

ア サイエンスパーク・能代市子ども館



1階展示室



1階遊び場



1階手遊びコーナー



2階工作室

建設年度	昭和 61 (1986) 年	築年数	39 年
延べ面積	1,793.59 m ²	建築面積	1,497.9 m ²
階数	2 階	構造	鉄筋コンクリート造
主な諸室	展示室 (1 階・2 階ホール)、プラネタリウム室、会議室 (実験・工作室)		
開館時間	9 時～17 時		
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日・第 4 金曜日 (祝日を除く) ・祝日の翌日 (土曜日・日曜日の場合は火曜日) ・年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日) 		
特徴	<p>こどもたちが科学に親しみ、夢と希望を持って健やかに成長できるよう、展示や講座等を通して、こどもも大人も楽しく科学を学習できる施設です。</p> <p>令和 5 (2023) 年に 1 階展示室をリニューアルオープンしました。以前リニューアルした 2 階展示室とともに、宇宙をテーマにした「ノビシロ宇宙ラボ」に生まれ変わりました。</p>		

出典：能代市 HP、株式会社乃村工藝社

イ NODENアリーナ（能代市総合体育館）



体育館



軽運動場

建設年度	平成 5（1993）年	築年数	32 年
延べ面積	6,997.63 m ²	建築面積	5,093.68 m ²
階数	2 階	構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造
主な諸室	体育場、軽運動場、格技場、トレーニングルーム、研修室・会議室・役員審判室、更衣室、シャワー室、トイレ等		
開館時間	9 時～21 時 30 分		
休館日	年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）		

出典：NPO 法人能代市スポーツ協会

ウ 能代市民プール



市民プール



幼児プール

建設年度	昭和 56（1981）年	築年数	44 年
延べ面積	1,497.532 m ²	建築面積	1,283.115 m ²
敷地面積	12,231.98 m ²	構造	鉄骨造平屋建
主な諸室	屋内プール、屋内幼児用、更衣室、シャワー室、トイレ等		
開館時間	平日：13 時～19 時 土日祝：10 時～19 時 7 月 23 日～8 月 25 日：10 時～20 時		
休館日	毎週火曜日（7 月 23 日～8 月 25 日は無休）		

出典：能代市資料、NPO 法人能代市スポーツ協会

3) 建設予定地について

駐車場からのアクセス性や屋外大型遊具、「サイエンスパーク・能代市子ども館」との動線や、十分な敷地の確保を考慮し、下図の位置を建設予定地とします。



図 建設予定地



①南西からみた建設予定地



②北東からみた建設予定地

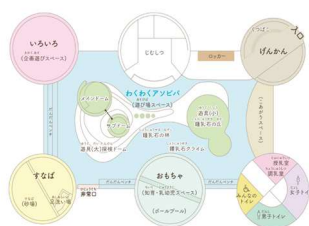
図 建設予定地の現況写真

第2章 先進事例の把握

1) おひさまドーム (福島県田村市)【単体施設】



外観



館内図



遊び場

建設年	令和5(2023)年	構造	RC造/1階建て	駐車台数	67台
延べ面積	549.91㎡	建築面積	727.20㎡	年少人口	(R2) 3,626人
料金	無料			利用者数	(R6) 38,338人
遊びの種類	ドーム(登ったり滑ったり)、ボルダリング、ボールプール、砂場(ホワイトサンド)、こあがりスペース(乳幼児向け)等				
特徴や利用状況	船引運動場内に整備されたこどものための施設です。おひさまドームは、こどもの運動機会の確保と健康増進、体力向上を目的としたドーム状の屋内遊び場です。田村市の観光名所でもある鍾乳洞をイメージしています。施設内には、プレイリーダーが常駐しています。メインドームのほか、ボールプールや砂場等の遊具も設置されており、0歳から小学生まで幅広い年齢層が利用できます。				

出典：先進事例調査、施設HP

2) アイデミきたかた 屋内子ども遊び場 めごぶらざ (福島県喜多方市)【複合施設】



外観



館内図



遊び場

建設年	令和4(2022)年	構造	RC造ほか/3階建て	駐車台数	133台
延べ面積	3,572㎡	建築面積	2,068㎡	年少人口	(R2) 4,905人
料金※	広域圏内に在住の方は無料(その他は一部有料)			利用者数※	(R6) 87,641人
遊びの種類※	ネット遊具(ネット、ジャングルジム、ブランコ、ハンモック)、大型エア遊具(エアキャスル、エアトラック)、迷路、クライミング、スライダー、ランニングサークル、ボールプール、ブロック、砂場、ベビーエア等				
目的・特徴 利用状況	アイデミきたかたは、屋内遊び場、子育て交流・支援、地域医療人材養成等の機能を有する「ひとつくり・交流拠点複合施設」です。屋内遊び場は、親子の交流や子育て世代の交流促進を目的としています。東北最大級のネット遊具をはじめ、運動神経が良くなる36の動作を体験できます。また、プレイリーダーが常駐し、安全な利用に努めています。				

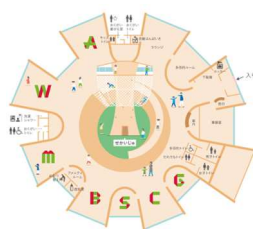
※この項目については、施設全体ではなく「めぐぶらざ」のみの内容

出典：先進事例調査、パンフレット、施設HP

3) さくらんぼこどもキャンパス CLAAPIN SAGAE (山形県寒河江市)【単体施設】



外観



館内図



遊び場

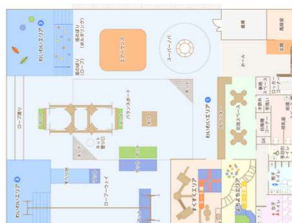
建設年	令和6(2024)年	構造	RC造ほか/1階建て	駐車台数	104台
延べ面積	2,000㎡	建築面積	2,392.07㎡	年少人口	(R2) 5,040人
料金	無料			利用者数	(R6) 171,073人
遊びの種類	ネット遊具、楽器、創作、木のおもちゃ、0～2歳エリア、外国語の絵本、マット、ハンモック等				
目的・特徴 利用状況	道の駅寒河江に隣接する施設です。屋内遊び場のほか、屋外遊戯エリア、キャンプエリア等があります。クラッピンサガエは、安心して遊ぶことができ、親子などが交流できる場で、利便性や交流人口の拡大を目的に整備されました。大型ネット遊具「せかいじゅ」を中心に、外国語、音楽、創作ができるエリアがあります。また、飲食ができるラウンジエリア、ワークショップ・講座を開催できる多目的ルームも併設されています。				

出典：先進事例調査、施設及び株式会社シェルターHP

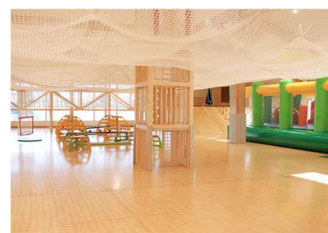
4) 小高区子どもの遊び場 NICO パーク A棟、B棟 (福島県南相馬市)【単体施設】



外観 (A棟)



館内図(A棟)



遊び場

建設年	A棟：令和3(2021)年 B棟：平成7(1995)年	構造	A棟：木造/2階建て B棟：S造/1階建て	駐車台数	51台
延べ面積	1,369.95㎡	建築面積	1,388.91㎡	年少人口	(R2) 5,099人
料金	無料（多目的室は有料）			利用者数	(R6) 43,658人
遊びの種類	大型ネット遊具、エア遊具、バランスボード、ロープ渡り、ハンモック、板のぼり、ボルダリング、滑り台、ロープウェイ、クッションブロック、ままごとセット、乳幼児エリア等				
目的・特徴 利用状況	NICOパークは、屋内において遊具等を通じた運動と多様な遊びの場を提供しています。もっとこどもの体力向上と健全育成を図るとともに、利用者相互のコミュニケーションの促進を図ることを目的として整備されました。動の遊び場のA棟、静の遊び場のB棟の2棟で構成されています。A棟は年齢別にエリアが分かれており、B棟は旧小高幼稚園をリノベーションした建物で、木の広場と多目的室があります。				

出典：先進事例調査、施設HP

5) げんきキッズパークにほんまつ（福島県二本松市）【単体施設】



園内マップ



遊び場

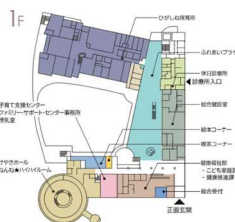
建設年	平成24(2012)年	構造	RC造/1階建て	駐車台数	137台
延べ面積	808㎡	建築面積	808㎡	年少人口	(R2) 5,760人
料金	無料			利用者数	(R6) 102,497人
遊びの種類	エアトラックボールプール、サイバーホイール、ボルダリング、サーキット、フリーゲームスペース、砂場、ベビーコーナー等				
目的・特徴 利用状況	げんきキッズパークにほんまつは、子どもたちに十分な運動機会を提供するため、「安達ヶ原ふるさと村」の既存施設を活用して屋内遊び場をオープンしました。しかし、利用者が多いことや十分なスペースがないことから、拡張整備を行いリニューアルオープンしました。小さな子どもでも安全に思いっきり遊べるのびのびルーム、広々とした空間で体をいっぱい動かせるげんきルーム、わんぱくルームの3つからなります。				

出典：先進事例調査、施設 HP

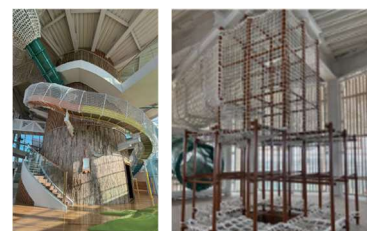
6) さくらんぼタントクルセンター けやきホール（山形県東根市）【複合施設】



外観



館内図



遊び場

建設年	平成17(2005)年	構造	RC造ほか/4階建て	駐車台数	220台
延べ面積	8,572㎡	建築面積	4,830㎡	年少人口	(R2) 6,548人
料金※	無料			利用者数※	(R6) 58,512人
遊びの種類※	大型すべり台、ネット遊具、木登り・塔、ジャングルジム、ねんねハイハイルーム等				
特徴 利用状況	大げやきのもと自然に人々が集まるように、この施設を子どもから高齢者まで世代を超えた様々な人々がたくさん訪れる「生き生きと生きる」ための交流の場と捉え、市民が満足できるような子育て支援・保健福祉の地域活動の拠点として整備された、総合保健福祉施設及び子育て支援施設です。けやきホールは、3階から1階までの大きなすべり台があり、3階にある天井ネットからは、けやきホール全体を見渡せます。				

※この項目については、施設全体ではなく「けやきホール」のみの内容

出典：先進事例調査、東根市及び施設 HP

7) 子育て交流施設 みっしゅ (秋田県三種町)【単体施設】



外観



館内図



遊び場

建設年	R4(2022)年 改修	構造	RC造/2階建て	駐車台数	約50台
延べ面積	999.78㎡	建築面積	916.53㎡	年少人口	(R2) 1,167人
料金	無料			利用者数	(R6) 約25,000人
遊びの種類	大型複合遊具、幼児エリア、絵本コーナー等				
特徴 利用状況	<p>子どもと保護者が安心して遊べる施設です。みっしゅは、子育てに関する情報交換のほか、保護者同士の交流の場としても利用できます。屋内大型遊具を備えたこどもホール、授乳スペースを備えた休憩室、飲食やお昼寝もできる和室の子育て交流室を開放しているほか、保健師が常駐する子育て世代包括支援センター、保育士が常駐する子育て支援センターが併設されています。</p>				

出典：先進事例調査、パンフレット、タカオ株式会社 HP

8) 子育て未来館 げんキッズ (山形県天童市)【単体施設】



外観



館内図



遊び場

建設年	平成27(2015)年	構造	S造/2階建て	駐車台数	200台
延べ面積	2,226.75㎡	建築面積	1,588.09㎡	年少人口	(R2) 8,060人
料金	無料 (研修室は有料)			利用者数	(R6) 約223,302人
遊びの種類	大型複合遊具 (すべり台)、かべのぼり、たんけんトンネル、ボールプール、ビッグブロック等				
特徴 利用状況	<p>子どもと親、子ども同士、保護者同士の交流の場として利用されています。また、保護者の方が一時的に保育が困難となった場合に、一時預かりをしています。遊び場のほか、飲食可能な子育てカフェ、様々な活動に利用できる多目的交流エリア、研修等に使用できる研修室があります。子育て情報コーナーも設置されています。</p>				

出典：先進事例調査、施設及び株式会社コトブキ HP

第3章 課題の抽出

現況やアンケート調査等の結果（資料編 P31～36 参照）を踏まえ、本市のこどもや子育て環境を取り巻く課題を整理します。

（1）こどもが健やかに成長できる環境の提供

本市には、サイエンスパーク・能代市子ども館や道の駅ふたつきキッズコーナー等の施設がある一方で、能代市子ども計画策定時のニーズ調査において、子育て環境への要望として「こどもの遊び場の確保」が挙げられました。背景には、近年の猛暑や大雪といった気候変動があり、天候に左右されず遊べる全天候型の遊び場の需要が高まっており、市民が屋内でこどもを遊ばせるために他自治体の施設を利用する機会が増えていることが考えられます。

また、こどもは「遊び」を通して学び、成長します。アンケート調査においても、大型複合遊具（動の遊び）、アート・クラフト体験コーナー（静の遊び）、自習ができる学習スペース（中高生の居場所）等の要望が多く、こどもが健やかに成長できる環境の提供が求められています。

（2）保護者が安心して子育てができる支援の充実

現在、本市では子育て支援センターの運営やファミリー・サポート・センター事業、妊婦・乳幼児健診、子育て世帯の経済的負担軽減等の多角的な支援を行っていますが、機能や窓口が各所に点在しています。また、アンケート調査等から「大人と会話したい、ママ友と交流したい、子育て支援センターを利用したことがない方もいる」等、情報発信や利用促進が不足している状況が分かりました。そのため、必要としている人に必要な支援を提供できる体制として、機能や窓口を一箇所に集約した子育て支援の中核となる拠点の整備が求められています。

（3）社会全体で支える体制への対応

全国的に少子化や人口減少に歯止めがかからない中、国はこども家庭庁を設置し、全てのこども・若者が幸せに暮らせる「こどもまんなか社会」の実現を掲げています。本市でも核家族化や共働き世帯の増加、地域コミュニティの希薄化等により、育児の孤立化が進み、子育て世代の負担感が増大しており、社会全体で子育てを支える体制が求められています。

（4）既存施設との連携及び持続可能な運営

能代河畔公園は、大型遊具のある子ども広場やサイエンスパーク・能代市子ども館等が集積し、市民の憩いの公園となっています。既存の施設と連携し、こどもまんなかエリアとして一体的に整備することで、多様な遊びや体験ができる場として期待されます。

一方で、公共施設の維持管理においては、次世代の負担を見据えた持続可能なマネジメントが求められています。既存施設との適切な役割分担を図り、相互に連携を深めることで、エリア全体の魅力を向上させ、効率的かつ持続可能な施設運営を実現することが求められています。

第4章 基本理念の設定

基本方針では、基本コンセプト及び3つの視点を設定し、本施設整備に向けた基本的な考え方を示しています。これを踏まえ、整理した課題を基に、本施設を含む「こどもまんなかエリア」に期待される役割や価値観を表す基本理念を次のように設定します。

<基本理念>

こどもの成長、子育てを社会全体で支え、
つながり、育ち合う「こどもまんなかエリア」の創出

こどもが、遊びや体験を通して成長し、それに保護者や地域の多様な世代がつながることで、子育てを社会全体で支え、育ち合える環境を整備するため、屋内外の遊びや学習・体験施設が連続する場所を「こどもまんなかエリア」として創出し、各施設の連携を進める中核施設として「こどもまんなか交流施設」を整備します。

<「こどもまんなか交流施設」の基本コンセプト>

基本理念を基に、本施設の基本コンセプトを次のように設定します。

あそぶ・まなぶ・つながる、こどもをまんなかに育ち合う安心空間

<「こどもまんなか交流施設」の3つの視点>

視点 1	こども	多様な遊びや体験活動は、こどもの健やかな成長の原点といわれます。能代河畔公園内の既存施設との連携により、屋内外の遊びや学び、体験の機会を創出し、こどもの健やかな育ちを促します。
視点 2	保護者	保護者が安心して子育てに向き合えるよう、相談や情報提供、こどもの健診等が可能となる機能を備えた子育て支援の拠点として整備します。妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うとともに、気軽に立ち寄り、休息や相談ができる環境を整えることで、保護者の不安や負担の軽減を図り、子育て支援の充実につなげます。
視点 3	地域社会	こどもと保護者だけでなく、地域住民や関係団体が自然に関わり合える交流の場として位置づけ、地域資源や人材を活用したイベントや体験活動を通じて、世代を超えた交流を促進し、こどもを社会全体で見守り、育てる意識の醸成を図ります。

第5章 導入機能・施設規模

5-1 導入機能・設備

導入機能・設備は、本施設の3つの視点に繋がるように設定します。

(1) 屋内遊び場

こども	保護者	地域社会
-----	-----	------

本施設のメインの施設として、1階と吹抜けで利用できる屋内遊び場を整備します。

屋内遊び場は、大型遊具のほかに、運動ができる広場やインクルーシブな遊び場等も考えられます。身体を使った遊びのほかに、木製遊具や知育遊具等、幅広いこどもの年齢に対応できる遊び場を整備します。

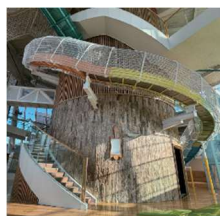
また、年齢や興味が異なるこどもの保護者にも配慮し、双方の様子に目が届くよう、視認性の高いゾーニングとします。



出典：クラッピンサガエ（寒河江市）



出典：コパル（山形市）



出典：さくらんぼタントクルセンター（東根市）



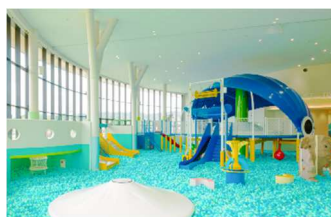
出典：もっくる（高島町）



出典：NICO パーク（南相馬市）



出典：げんキッズ（天童市）



出典：くるんと（長井市）



出典：キッズドームソライ（鶴岡市）

(2) 子育て支援センター

こども	保護者	地域社会
-----	-----	------

保育士と一緒に遊んだり、絵本を読んでもらったり、育児相談や子育て支援講座等を行うことができる子育て支援センターを整備します。育児相談等に加え、一時預かり保育も実施します。

また、子育て支援センターでは、ファミリー・サポート・センター事業の窓口を設置する予定です。この事業は子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）との相互援助活動（有償ボランティア活動）で、教育・保育施設や習い事の送迎やこどもの預かり等を行います。

(3) 事務所兼受付（管理）、子育て支援課（行政機能）

こども

保護者

地域社会

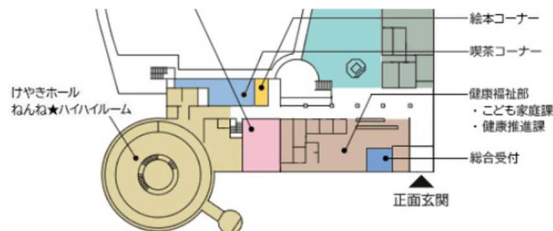
エントランスから視認しやすい位置に本施設全体の事務所兼受付を整備します。

子育て支援拠点としての機能強化を目的に、子育て支援課の行政機能を市役所から移転します。子育てに関連する手続き等が本施設で完結します。



視認性の高い受付

出典：クラッピンサガエ（寒河江市）



健康福祉部と遊び場が併設した複合施設

出典：さくらんぼタントクルセンター（東根市）

(4) 休憩所・交流空間

こども

保護者

地域社会

屋内遊び場エリア以外に、持込みのお弁当やお菓子が食べられるスペース等を整備します。こどもやその保護者の利用をメインとしますが、地域の人も利用できるスペースとし、多世代が同じ空間で過ごせる場所を整備します。

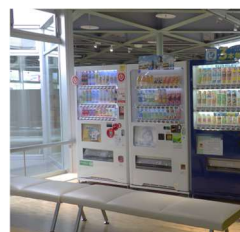
また、遊び疲れたこどもや保護者がゆっくり休憩したり、乳幼児がお昼寝したりできるようなスペース等も整備します。



電子レンジとキッチンが整備されている休憩エリア



出典：げんキッズ（天童市）



自動販売機

(5) 多目的室、相談室

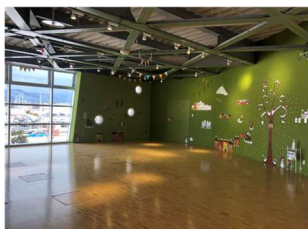
こども

保護者

地域社会

乳幼児健診や子育てイベント・講座等を行える多目的室を整備します。長期休みには中高生の居場所として自習室とすることや、空いている時間は他の用途に転用します。

また、プライバシーの確保が可能な個室となっている相談室を整備します。



多目的交流エリア 研修室
出典：げんキッズ（天童市）



多目的ルーム
出典：クラッピンサガエ（寒河江市）

(6) ホール

こども

保護者

地域社会

エントランス周辺は、季節の飾り付けやイベントを実施できるホールとしても利用します。また、保護者同士の交流ができるフリースペースも整備します。

館内は全館土足厳禁とし、エントランスには、下足箱の整備をします。また、荷物を預けられるロッカーを整備します。

駐車場からエントランスへのアクセス性や安全確保、天候（雨・風）等への備えに配慮します。



イベントが開催できるエントランスホール
出典：こむこむ館（福島市）

(7) その他設備等

こども

保護者

地域社会

導入する施設や各設備については、こどもや子育て世帯が利用しやすいことを基本とし、誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインの考え方を踏まえて整備します。こども用トイレの設置に加え、授乳室やおむつ交換台、多目的トイレ等を整備し、乳幼児連れをはじめ多様な利用者に配慮した環境づくりを進めます。

また、冬場や足元が冷えやすい季節でもこどもが元気に遊べるよう、常に快適な室温を保ちます。

5-2 利用対象・検討事項

利用対象者や導入施設の検討事項等を整理します。

(1) 利用対象者

基本方針で設定した利用対象者を基に整理します。

- ・本施設の利用対象者は、主にこどもとその保護者とします。あわせて、妊娠期の方や子育てに関心のある市民や祖父母世代等、子育てを支える地域の方々も利用できる施設とします。
- ・こどもは高校生以下を指し、屋内遊び場の利用対象者は小学生以下とします。
- ・保育所や小学校等の団体利用にも配慮します。

(2) 導入施設の検討事項

こどもも保護者も安心して過ごせる安心空間となるように、導入施設について基本設計と並行して具体的に検討を行います。

● 土足厳禁

館内の衛生状態を保つため、全館土足厳禁とすることや、館内専用のベビーカー及び車椅子の貸し出し等について検討を行います。

● 防犯対策

不審者の侵入や安全面に配慮して、死角を最小限に抑えた視認性の高いゾーニングを検討します。スタッフや保護者による見守りの他に、防犯カメラを適切に配置することで、犯罪やいたずらの抑止、緊急時の記録、利用者の安心感を高めます。

● 防災対策

近年、全国的に自然災害が頻発・激甚化しており、市内においても大雨による土砂災害や河川の氾濫が懸念されます。また、地震災害への備えとして、建物の耐震化や津波避難計画の作成を進めるなど、避難対策を行います。

● インクルーシブな環境（ユニバーサルデザイン）

障がいの有無や性別、国籍、年齢などにかかわらず、全ての人々が平等に利用できる施設とします。また、乳幼児や妊産婦の利用を想定した設備やゾーニングとします。

5-3 施設規模の設定

(1) 施設全体のボリューム検討

本施設の整備にあたり、主なメインターゲットは、能代市及び能代山本圏域に居住するこどもや子育て世帯とします。施設全体のボリュームの検討は、0歳から14歳の年少人口が同規模の市町村で整備している「屋内遊び場等を有する施設」を参考にします。これにより、年少人口に対する適切な施設全体のボリュームを把握します。

令和2(2020)年の国勢調査によると、本市の年少人口は4,231人、能代山本圏域の年少人口は6,040人です。東北6県を対象に、年少人口3,000~7,000人程度の市町村を「同規模市町村」と定義します。条件に合致する参考事例は下表のとおりです。

表 同規模市町村の屋内遊び場等を有する施設

番号	市町村	年少人口	施設名	施設区分	建物構造	延べ面積	建築面積	主な機能
1	福島県 田村市	3,626人	おひさまドーム	屋内遊び場	RC造 1階建て	約 549.91㎡	約 727.20㎡	屋内遊び場
2	福島県 喜多方市	4,905人	アイデミきたかた 屋内子ども遊び場 めぐらざ	交流拠点複 合施設	RC造ほか 3階建て	約 3,572.00㎡	約 2,068.00㎡	屋内遊び場、子育て支援 ルーム、相談ルーム等
3	山形県 寒河江市	5,040人	さくらんぼ子どもキャンパス クラッピンサガエ	屋内遊び場	RC造ほか 1階建て	約 2,000.00㎡	約 2,392.07㎡	屋内遊び場、ラウンジエリ ア、多目的ルーム等
4	福島県 南相馬市	5,099人	小高区子どもの遊び場 NICOパークA棟、B棟	屋内遊び場	木造 2階建て ほか	約 1,369.95㎡	約 1,388.91㎡	屋内遊び場、交流スペース、 多目的室等
5	福島県 二本松市	5,760人	安達ヶ原ふるさと村 げんきキッズパークにほんまつ	屋内遊び場	RC造 1階建て	約 808.00㎡	約 808.00㎡	屋内遊び場
6	山形県 東根市	6,548人	さくらんぼタントクルセンター けやきホール	総合保健福 祉施設	RC造 4階建て	約 8,572.00㎡	約 4,830.00㎡	屋内遊び場、保育所、子育 て支援センター、診療所、調 理実習室、大ホール等

出典：年少人口はR2国勢調査、各施設情報は施設HP及び先進事例調査

抽出した施設の平均値は、延べ面積 2,812 ㎡、建築面積 2,036 ㎡です。これらを参考に、施設全体のボリュームは、2,000 ㎡台を目途に検討を行います。なお、この規模は年少人口に基づいた目安であるため、導入施設・諸室の規模検討で調整を行います。

(2) 施設規模の設定

前項までの検討を基に、本施設に導入する各室と施設全体の適正規模を算定します。

本施設に導入する主な各室の規模は、次のとおり設定しました。

- ・屋内遊び場は、小学校における体育館の基準を準用し約 600 m²とします。
- ・子育て支援センターは、市内の「つどいの広場ぽけっと」と同等の広さの約 150 m²とします。
- ・子育て支援課は、職員数 22 名（予定）、執務室の一人あたりの必要面積 10 m²と設定し約 220 m²とします。
- ・休憩所・交流空間は、休憩室の一人あたりの必要面積 2 m²と設定し約 70 m²とします。
- ・多目的室は、一室 66 m²を 3 室（可動間仕切りで調整可能）とし約 200 m²とします。相談室は、一室 10 m²を 3 室とし約 30 m²とします。

その他、トイレや通路・階段等の面積も考慮して、本施設全体の規模を約 2,400 m²とします。

表 施設規模の設定

階	室名	延べ面積 (m ²)	利用人数 (人)	単位必要面積 (m ²)	備考
1	屋内遊び場	600	60	10	小学校体育館の基準を準用 0~2歳用は、行動範囲が狭いため必要面積1/3
	子育て支援センター	150	5	30	参考事例を44.5坪
	休憩所・交流空間	70	35	2	
	事務所兼受付	40	4	10	
	ホール	180	60	3	風除室・ロッカー
	トイレ等	75			授乳室を含む
	倉庫	35			
	通路・階段(EV)	140			居室の約15%
	機械室等	210			全館の約15%
1F 小計		1,500			
2	屋内遊び場	100	10	10	1階と吹抜けで一体利用
	多目的室（貸室）	200	60	3.3	約66m ² を3室、可動間仕切りで調整
	子育て支援課	220	22	10	
	相談室	30	3	10	10m ² を3室
	トイレ等	60			更衣室を含む
	倉庫	50			
	書庫	55			
	通路・階段(EV)	85			居室の約15%
	機械室等	100			全館の約15%
2F 小計		900			
合計		2,400			

5-4 ソフト事業の提案

現在、子育て支援センターで実施している乳幼児と保護者向けのイベントは継続して実施していくこととします。アンケート調査や導入機能・諸室、周辺施設との連携により、実施の可能性があるソフト事業は次のとおりです。

- 季節や成長を祝うイベント

アンケート調査で最も要望が多かった季節を楽しめるイベントとして、夏祭りやクリスマス会に加え、七夕、お正月、ハロウィンなど、各月で季節の行事を親子や友達同士で楽しめるイベントの開催が考えられます。また、現在実施中のお誕生日会は、同年代の親同士の交流促進の場や地域で成長を祝う場にもなります。

- 学びや体験のイベント

子どもたちの知的好奇心を育むため、工作やお絵かき、科学実験等の学びや体験のイベントを実施することが考えられます。

- 身体を動かすイベント

健やかな体づくりを支援するため、リズム体操や屋内スポーツのほか、屋内遊び場を活用した宝探しゲーム等の実施が考えられます。

- 多世代交流のイベント

長期休みには、多目的室を活用して、中高生向けの自習スペースの提供が考えられます。また、中高生が乳幼児と遊ぶことや、イベントの運営に関わることも考えられます。

ファミリー・サポート・センター事業の有償ボランティアの育成や講座を開催し、地域全体で子育てを支える体制を整えるとともに、情報発信を強化することが考えられます。

- 他施設や多分野との連携イベント

本市に関連のあるキャラクターとコラボレーションするなど、市の特徴を活用したイベントを通じて、地域について学べる機会を提供することが考えられます。

サイエンスパーク・能代市子ども館やNODENアリーナ（能代市総合体育館）、屋外のエリアとも連携したイベントを実施し、エリア全体の回遊性を高めることが考えられます。さらに、エリア内にとどまらず、市内の他施設や既存イベントと広域的な連携をすることで、市内の回遊性向上も考えられます。

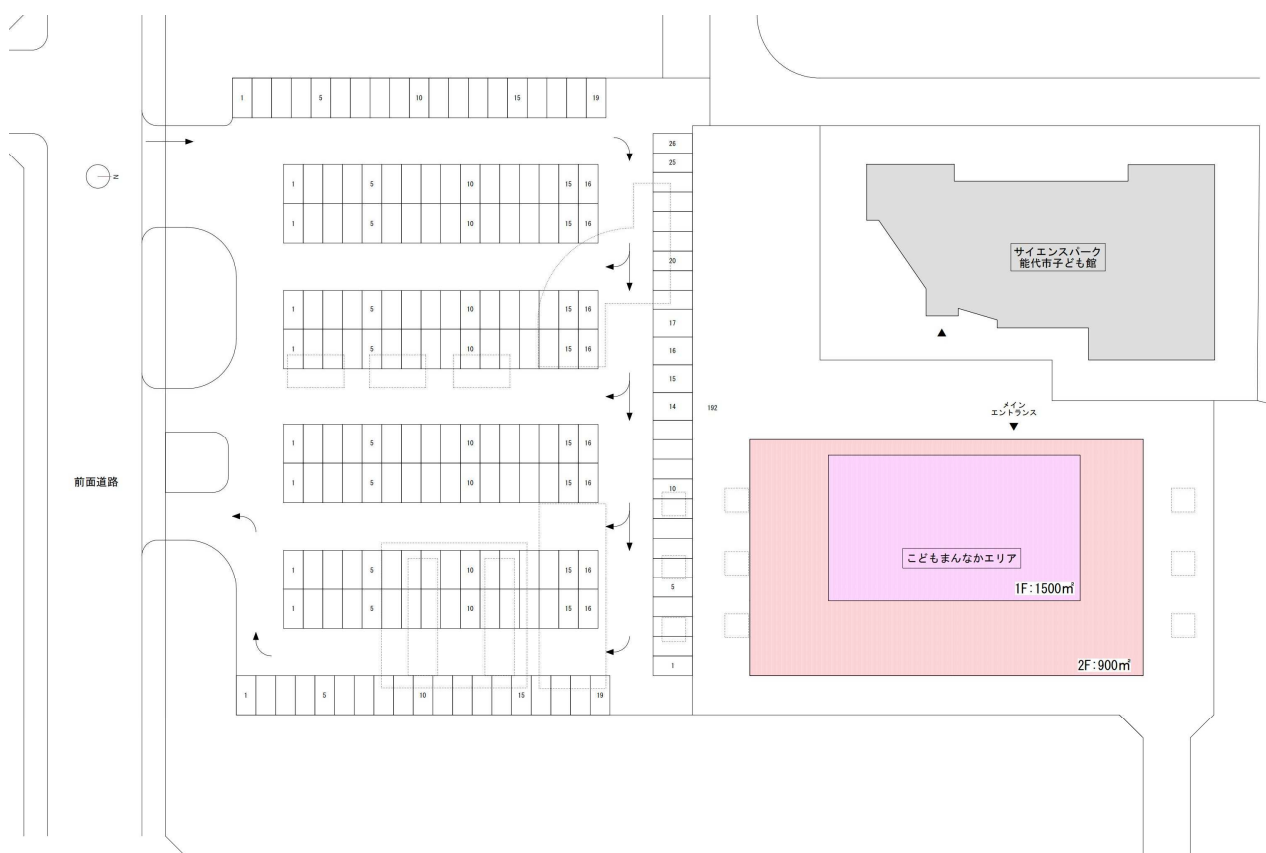
第6章 基本計画図

(1) 前提条件

- ・公園内の施設や駐車場の関係性を整理し、動線を考慮して配置を検討します。
- ・動線に関わりの深い、エントランスや主な導入機能（屋内遊び場）の配置を考慮します。
- ・施設全体のボリューム検討で設定したとおり、延べ面積 2,400 m²としてゾーニング検討を行います。
- ・建物は鉄骨造 2 階建てを原則とし、屋内遊び場エリアは 1 階に配置し上部は吹き抜けと仮定します。サイエンスパーク・能代市子ども館の東側のエリアに建物を配置します。

(2) 基本計画図

- ・本施設のコンセプトとして「あそぶ・まなぶ・つながる、こどもをまんなかに育ち合う安心空間」と設定したように、1 階と吹き抜けで利用できる屋内遊び場（こどものエリア）を整備します。
- ・延べ面積 2,400 m²のうち、1 階 1,500 m²、2 階 900 m²と仮定した場合のボリュームを配置します。
- ・エントランスは、サイエンスパーク・能代市子ども館のエントランスの位置を考慮して配置します。



※本計画時点でのイメージ図のため、今後の基本設計や関係者協議等により変更になります。

図 基本計画図

第7章 事業実施に向けて

7-1 概算整備費

施設規模や内容等から、標準的な㎡単価等により概算整備費の算出を行います。現在の物価における価格であり、建築工事などに着手の際には、資材や人件費の高騰等の影響を考慮する必要があります。

建物本体工事は、建築コスト情報（2025年1月）に記載の総合保育施設（単価50万円/㎡）を参考に約12億円と積算されました。その他付帯工事や設計委託料及び遊具設置費用等を含めた、概算総整備費は約20億円と算出されました。

なお、本計画時点での概算総整備費となっており、今後の基本設計や関係者協議等により、変動する可能性があります。

7-2 事業スケジュール

本計画策定後から供用開始までのおおまかなスケジュールを示します。

項目	令和8（2026）年度	令和9（2027）年度	令和10（2028）年度	令和11（2029）年度
調査・計画・設計	測量地質調査 基本設計	実施設計 外構設計		共用開始
工事			本体工事 外構工事	
開業準備			準備	

※本計画時点でのおおまかな事業スケジュールとなっています。今後の基本設計や関係者協議等により、詳細なスケジュールを検討します。

図 事業スケジュール案

7-3 活用が見込まれる補助金等の整理

本施設を整備するにあたり、活用が見込まれる国庫補助金と地方債制度を整理します。

表 活用が見込まれる主な国庫補助金

省庁	名称	補助率	補助対象の可能性
内閣府	新しい地方経済・生活環境創生交付金 (第2世代交付金)	1/2	地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参加を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を支援する。
国土交通省	社会資本整備総合交付金	1/2	自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設した。成長力強化や地域活性化等につながる事業を対象としている。
こども家庭庁	地域子育て支援拠点事業	1/3	子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供する事業(運営費)を対象としている。

表 活用が見込まれる地方債制度

省庁	名称	充当率	対象事業
総務省	過疎対策事業債	100%	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(令和3年法律第19号)第2条の規定により公示された市町村が、過疎地域持続的発展市町村計画に基づき実施する事業を対象とする。

資料編

資料1 子育て世帯アンケート調査

(1) 調査概要

1) 目的

こどもの遊び場及び子育て関連施設に関する子育て世帯のニーズを把握することを目的とします。

2) 対象者

令和7(2025)年4月1日時点で無作為抽出した15歳以下の市民の保護者1,500名

3) 実施方法

発送：郵送

回収：紙面回答(郵送)又はWEB回答

実施期間：令和7(2025)年7月29日～8月15日

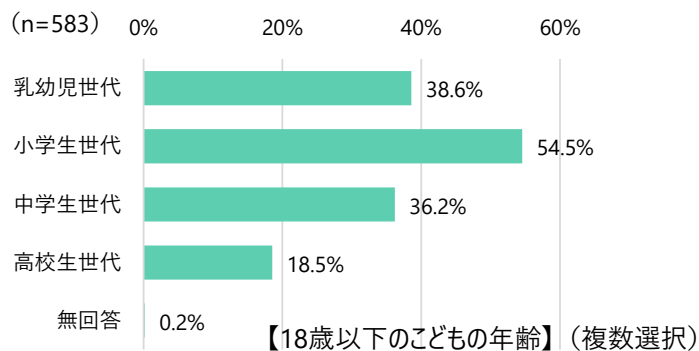
4) 回収状況

回収数：583票(紙面311票、WEB272票)

回収率：38.8%(紙面20.7%、WEB18.1%)

(2) 調査結果

1) 主な回答者属性



※乳幼児世代は0～1、2～3、4～6歳を選択した方の合計

小学生世代は7～8、9～10、11～12歳を選択した方の合計

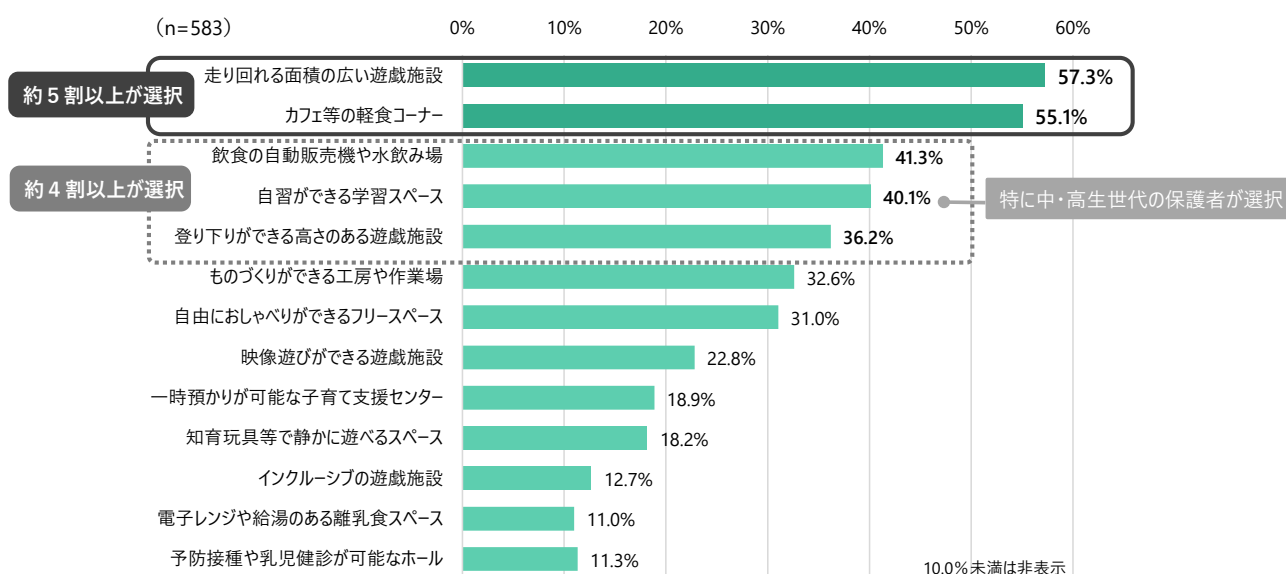
中学生世代は13～15歳を選択した方

高校生世代は16歳以上を選択した方

乳幼児世代(0～6歳)の保護者が38.6%、小学生世代(7～12歳)の保護者が54.5%、中学生世代(13～15歳)の保護者が36.2%、高校生世代(16歳以上)の保護者が18.5%となっています。

2) 求める機能や要望等

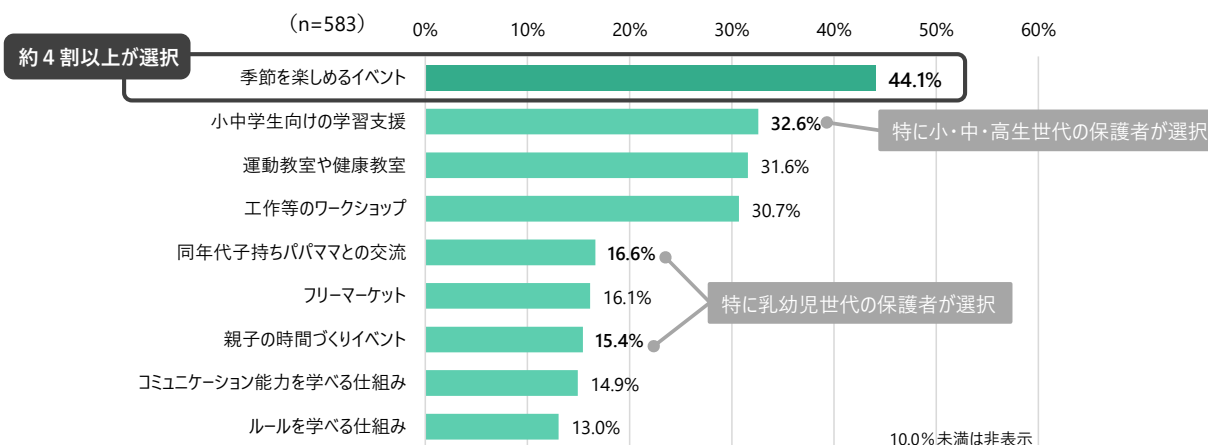
問 どのような機能があれば、利用したいですか。(5つまで選択)



最も回答割合が高いのは「走り回れる面積の広い遊戯施設」で 57.3%、次いで「カフェ等の軽食コーナー」で 55.1%となっており、どの世代の保護者からも選択されています。

一方で「自習ができる学習スペース」は、約 4 割以上が選択していますが、特に中・高生世代の保護者が選択しています。

問 どのような仕組みやイベントがあれば、利用したいですか。(3つまで選択)

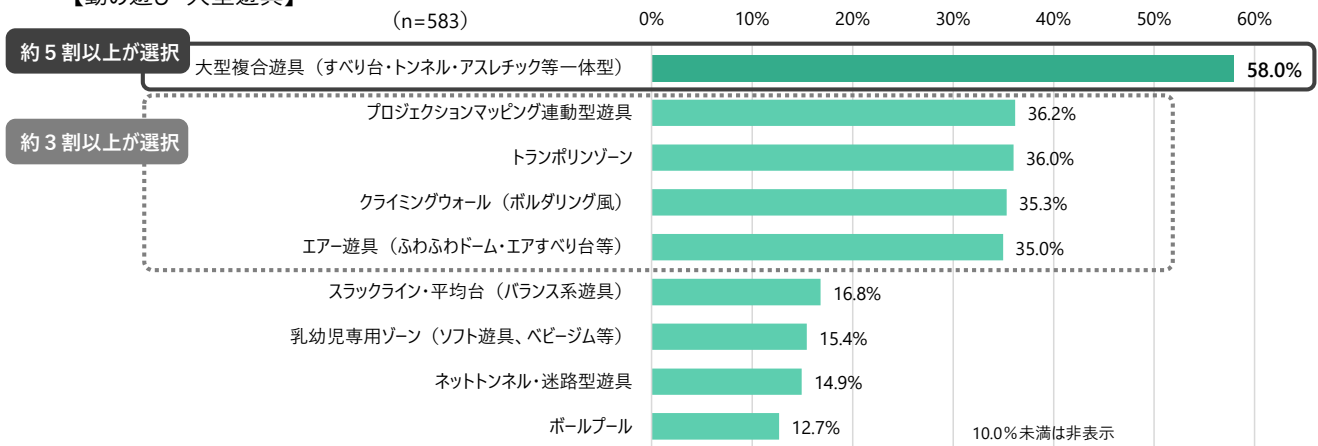


最も回答割合が高いのは「季節を楽しめるイベント」で 44.1%となっており、どの世代の保護者からも選択されています。

一方で「小中学生向けの学習支援 (32.6%)」は、特に小・中・高生世代の保護者が選択しています。ほかに「同年代子持ちパパママとの交流 (16.6%)」や「親子の時間づくりイベント (15.4%)」は乳幼児世代の保護者が選択しています。

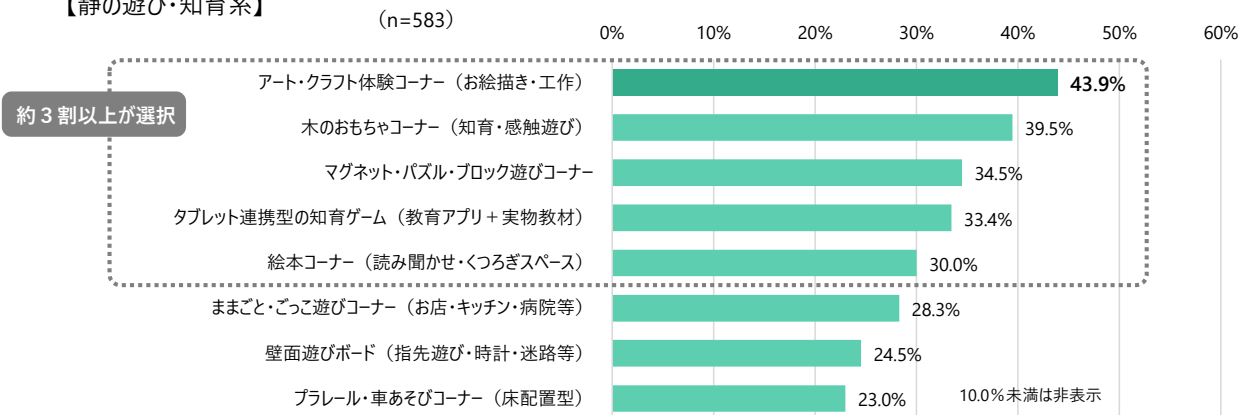
問 屋内遊戯エリアに【**動の遊び・大型遊具**】、【**静の遊び・知育系**】で、どのような種類の遊具があれば、利用したいですか。(それぞれ3つまで選択)

【**動の遊び・大型遊具**】



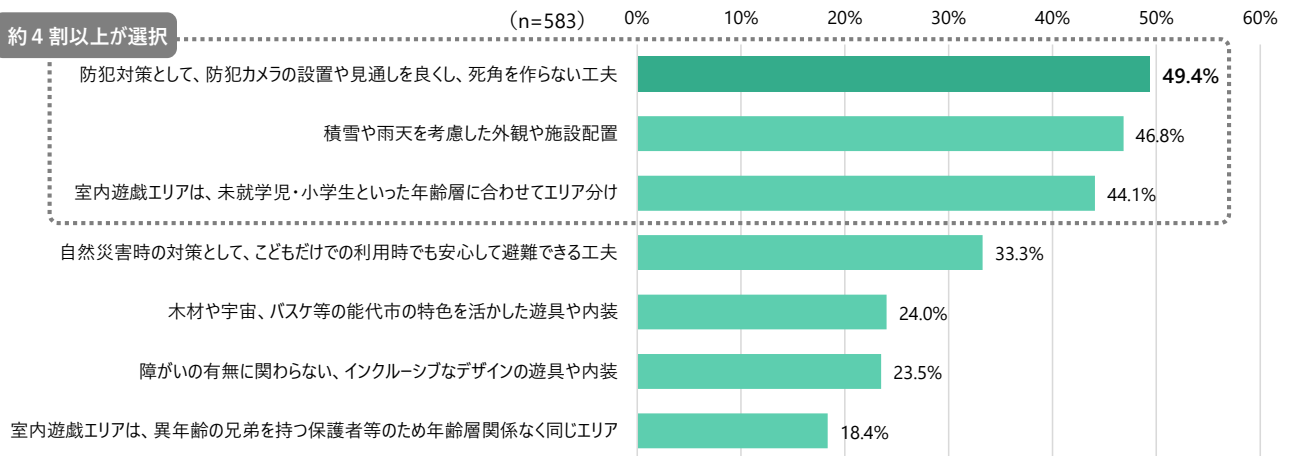
最も回答割合が高いのは「大型複合遊具」で 58.0%となっており、約 5 割以上が選択しています。次いで「プロジェクションマッピング連動型遊具 (36.2%)」「トランポリンゾーン (36.0%)」「クライミングウォール (35.3%)」「エア遊具 (35.0%)」を約 3 割以上が選択しています。

【**静の遊び・知育系**】



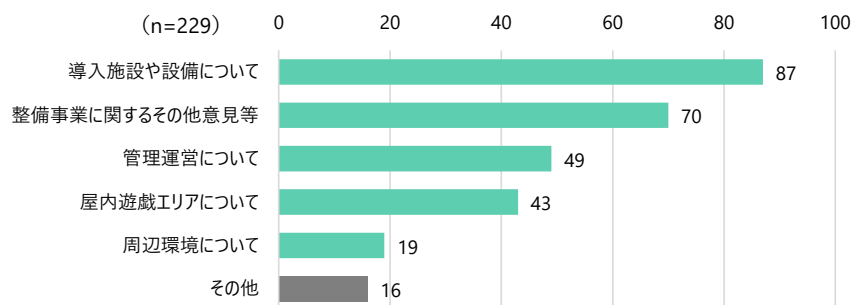
最も回答割合が高いのは「アート・クラフト体験コーナー」で 43.9%となっています。次いで「木のおもちゃコーナー (39.5%)」「マグネット・パズル・ブロック遊びコーナー (34.5%)」「タブレット連携型の知育ゲーム (33.4%)」「絵本コーナー (30.0%)」の順となっており、約 3 割以上が選択しています。

問 建物を建てるにあたり、特に配慮してほしいことを教えてください。(3つまで選択)



最も回答割合が高いのは「防犯対策として、防犯カメラの設置や見通しを良くし、死角を作らない工夫」で49.4%となっています。次いで「積雪や雨天を考慮した外観や施設配置(46.8%)」「室内遊戯エリアは、未就学児・小学生といった年齢層に合わせてエリア分け(44.1%)」の順となっています。

問 本施設に関するご意見・ご要望等をご記入ください。(自由記述)



テーマ別に分類すると、「導入施設や設備について」が多く、具体的には、季節や天候を気にせず身体を動かせるスペースが欲しい、広い駐車場、カフェや飲食施設があれば一日中楽しめる、自動販売機や設備の充実、こどもも大人も相談できる仕組み、中高生の居場所、安全安心な環境、衛生面、防犯対策、整備事業に期待する声や整備事業の必要性等がありました。

資料2 子育て支援団体等へのヒアリング調査

(1) 調査概要

1) 目的

管理者の視点を把握して、施設の導入機能・施設や管理運営の参考とすることを目的とします。

2) 対象者

下記の3分類の施設を対象にヒアリングシートを配布

- 屋内遊び場を有する施設
- 子育て支援センター
- こどもの居場所づくりになる施設

3) 実施方法

発送：メール又は郵送

回収：データ上での回答（メール）又は紙面回答（郵送）

実施期間：令和7（2025）年9月8日～9月19日

(2) 調査結果概要

1) 【共通】施設を維持管理するうえの課題や悩みごと（こども・子育てに関連すること）

○屋内遊び場等を有する施設

- ・利用者増加による遊具の劣化、修繕費・物価の高騰。
- ・こどもが減少している中、来館者数を増やすことが難しい。
- ・館内に職員がいないと、こどもたちの遊びはだんだん乱れていく。例えば、走り回って遊んだり、入ってはいけないところに隠れたり…。可能な限り職員が見ているようにしている。
- ・職員が直接お客様と触れ合いながら、安全面も配慮しながら見守っている。

○子育て支援センター

- ・一時預かり専用の部屋がないので、落ち着ける環境がなくお昼寝も十分にできない。
- ・物入れや収納ブースは、書類保存やおもちゃ等の入替えのため必要。
- ・市内や他地区からの利用者の増加がみられるが、イベント等の日程が重なることでの弊害もあり、重ならないように調整している。

2) 【子育て支援センター対象】屋内遊び場（遊戯室）以外に求める機能・施設

○子育て支援センター

- ・講座等を開催するための部屋、調理関係の講座ができるような調理室
- ・親が一人でくつろげる小部屋
- ・変化をつけるため、大型遊具は専門業者のリース形式にする。
- ・トイレの充実、おむつ交換台（寝かせ用・立ち用の2種類）、こどもの駅認定になるように。
- ・利用者負担軽減のため、初回利用者登録を電子登録とする。

3)【子育て支援センター対象】子育て支援センターとして連携協働の在り方、能代市の子育て支援センターのあるべき姿、今後の展望等

○子育て支援センター

- ・こども家庭センター「めん choco てらす」の機能が導入されれば、産前産後のケアの充実が図れると思う。
- ・健診には来るが、支援センターにはほとんど来ない在宅の方が多くいる。こども家庭センターの乳幼児健診と子育て支援センターを集約すれば健診後に立寄りやすくなる。
- ・育児サポートとして一時預かり事業も子育て支援センターで行なっていけば良いと思う。
- ・利用者からの相談に、保健師・行政・保育士などが連携して対応できるシステム。

4)【こどもの居場所づくりになる施設対象】こどもの居場所づくりという視点や主催の事業・イベントを行ううえで、大切にしている理念や考え

○こどもの居場所づくりになる施設

- ・不特定多数が来館する施設のため、誰もが気持ちよく利用いただけるよう、来館者への挨拶や困っている方への声掛けなどを積極的にするよう心掛けている。
- ・いつでも立寄りやすい場所を目指している。小学生の時に利用していた子どもたちが、中学・高校と成長していく中で、児童館の存在を思い出し、相談や普段の生活の様子を話しに来てくれる、そんな空間にしたい。
- ・図書館は読書以外にも宿題や調べ物をするほか、イベントに参加する等、先生や親以外の人と関わりながら、安心して過ごせる居場所である。

5)【共通】その他、「こどもまんなかエリア」についてのご意見等

○屋内遊び場等を有する施設

- ・どんなに施設が立派でも、見守る職員が少ないと、こどもの安全・安心は保証されなくなるので、完成後の運用にも配慮して計画してほしい。
- ・幅広い年齢の子どもたち全てを満足させるのは、とても大変なことではあるが、未就学児同様、中・高校生も活動できる居場所になればいい。

○子育て支援センター

- ・こどもが自由に思う存分遊べる場所とはいえ、親のケアも大切なので支援施設としての機能も期待したい。
- ・年に数回、能代河畔公園内の施設や大型遊具を活用した「連携イベント」を企画してほしい。
- ・ここに行くと子育てに関する全てのこと、手続き・悩み相談・遊び・講座・リフレッシュ等が完結できるようなエリアにしてほしい。

資料3 能代市こどもの遊び場整備基本方針について

令和6(2024)年度に能代市こどもの遊び場整備基本方針策定に向けて「こども・子育て交流施設整備推進庁内会議」を設置しました。

「能代市こどもの遊び場整備基本方針について」は次のとおりです。

能代市こどもの遊び場整備基本方針について

1. 基本方針について

この基本方針は、本市のこどもの遊び場整備に関し、導入する機能や対象者、規模、整備場所等に関する基本的な方向性について、市民ニーズや子育て分科会からの提言書、庁内各部の意見を踏まえ、市としての方針を示すものである。

2. 基本コンセプト（基本コンセプト、整備候補地、整備方針等）

(1) 基本コンセプト

こどもをまんやかに遊びを通してみんながつながり育ち合う

「こどもまんなかエリア」の創出

- 3つの視点 ・こどもの健やかな成長を促す遊びの環境づくり
- ・保護者が安心して子育てができる環境づくり
- ・地域の多様な世代が関わる子育て環境づくり

○中核施設 「こどもまんなか交流施設」

- ・市では、こどもの健やかな育ちと保護者の子育てを地域全体で支援し、こどもの誕生や成長を共に喜び合える「こどもまんなか」社会を目指している。
- ・多様な遊びや体験活動は、こどもの健やかな成長の原点といわれる。屋内外での自然体験や運動遊び、お絵描きやものづくりなど五感を使った遊びの環境を整備し、こどもの健やかな育ちを促す。
- ・また、保護者がゆとりをもち安心して子育てができるよう、妊娠期から子育て期まで相談、憩い、交流や学びの機会を切れ目なく提供し支援する子育て支援拠点を整備する。
- ・こどもをまんやかに、保護者、地域の多様な世代が、遊びや体験を通して関わり合い、育ち合える環境を整備するため、屋内外の遊びや体験施設が隣接する空間を「こどもまんなかエリア」とし、各施設の有機的な連携を進める中核施設として「こどもまんなか交流施設」を整備する。

(2) 整備候補地

既存の遊び場・子育て関連施設等周辺との繋がりのほか、交通アクセス、十分な面積の確保が可能な市有地であることなどの視点を考慮し、「河畔公園」を整備候補地とする。

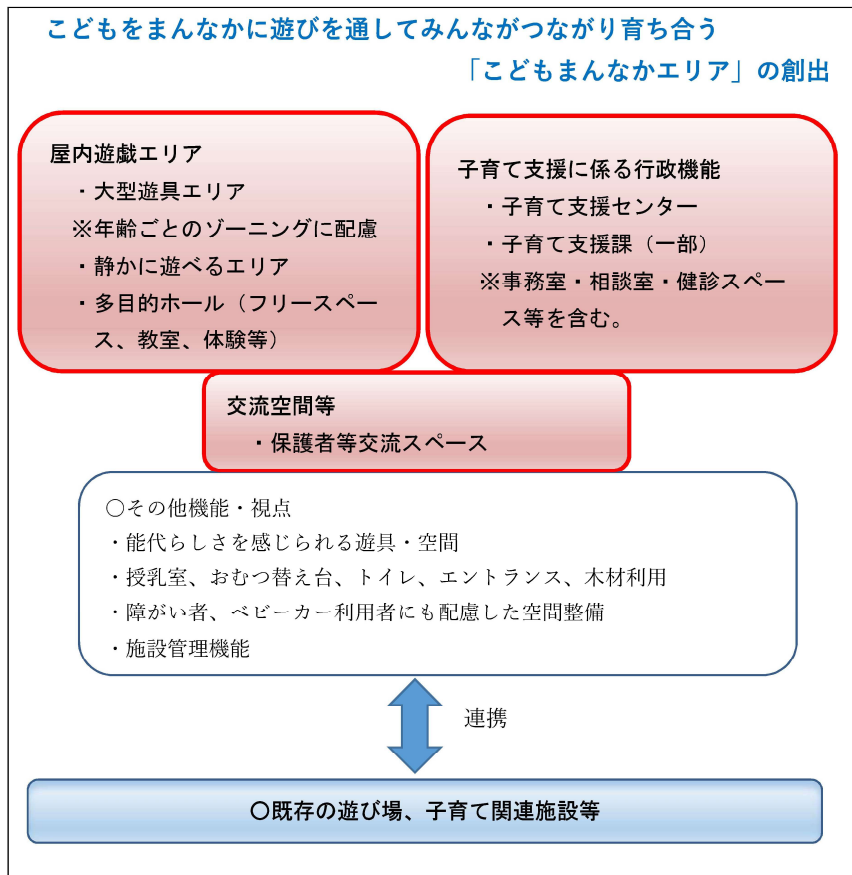
(3) 整備方針

項目	内容
利用対象	<ul style="list-style-type: none"> ・施設は、高校生以下の子ども及びその保護者を利用対象とする。 ・遊戯エリアは、小学生以下の子どもを利用対象とする。 ・市民（子ども、保護者）の利用を前提とした施設とする。（市外からの利用も妨げない。） ・就学前施設等の団体利用にも配慮する。
必要機能	<p>【核となる機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○屋内遊戯エリア <ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具等の整備のほか、本を読んだり、ままごと、積木、自由に絵を書くこと等が出来る空間を整備することとし、体を動かしたい子どもだけでなく、静かに遊びたい子どもや障がいのある方に配慮した施設整備とする。 ・自由に走り回ったり、工作、各種教室や体験等に活用できる多目的ホール等の空間 ○子育て支援に関する行政機能 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター <ul style="list-style-type: none"> 業務：各種講座、育児相談、子育てサークル支援、一時預かり事業、ファミサポ事業 設備：一時保育室、会議室、小フリースペース、給湯室等 ・子育て支援課の一部機能 <ul style="list-style-type: none"> 業務：施設管理、小学生等を対象とした講座（他課との調整）、相談対応、書類受付等 設備：事務室、会議スペース、情報コーナー、給湯室、救護室等 ・その他：ハローめん choco くらす（母親・両親学級）、妊婦相談、乳幼児健診・育児相談等を実施 <ul style="list-style-type: none"> 設備：相談室、健診スペース、会議室 ○保護者同士の交流空間、中高生の居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・市民交流スペースのような子ども、保護者が飲食も含め、自由に使える空間
その他 ※ 配慮する視点	<ul style="list-style-type: none"> ・能代の特色（木都、宇宙等）や産業（エネルギー等）を遊びの中で体験し、学ぶことができる遊具、空間とする。 ・積極的な木材利用に取り組むとともに、地元産木材の活用に努める。 ・安全面を考慮し、年齢層に応じた遊戯エリアを設定する。特に、乳児の安全確保に配慮する。 ・事故の防止や異年齢の兄弟を持つ保護者等の負担軽減等を考慮し、保

	<p>護者が休憩時においても、こどもの様子を常時把握できる見通しの良い空間整備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親・母親ともに利用しやすい施設（トイレや授乳室等の配慮）の整備とする。 ・駐車場から建物入り口まで余裕ある動線を確保する。（障がい者やベビーカー利用者、雨天時等に配慮） ・こども（親子）と、育児サークルや託児ボランティア等、地域の方との交流に係る事業実施（ソフト）にも配慮する。 ・こどもの遊び場や居場所については、各地域にあることが望ましいことから、新たな公共施設の整備の際は配慮する。
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

（４）施設のイメージ

核となる機能を軸に、その他必要機能を落とし込み、既存施設と連携を図る。



4. 財源、整備規模・スケジュール等

(1) 活用が見込まれる財源

過疎債、デジタル田園都市国家構想交付金、こども・子育て支援事業債、水と緑の森づくり税関係事業、次世代育成支援対策施設整備交付金等

(2) 整備規模・整備スケジュール等

整備規模・ゾーニング、スケジュール等については、基本計画策定業務（7年度）の中で各導入機能の必要面積・利用者数の推計、概算整備費等も踏まえて、詳細な検討を行うものとする。

資料4 こども・子育て交流施設整備9つの提言

令和6(2024)年度に能代市こどもの遊び場整備基本方針策定に向けて「こども・子育て交流施設整備推進庁内会議子育て分科会」を設置しました。

こども・子育て交流施設整備推進庁内会議子育て分科会では「こども・子育て交流施設整備9つの提言」の作成を行いました。

表 こども・子育て交流施設整備9つの提言

提言1	季節や天候に左右されず、こどもたちが思いっきり走り回り、自由に遊べる施設
提言2	たくさんのこどもが、同じ空間で思い思いに遊べる施設
提言3	能代らしさを感じることが出来る施設
提言4	気軽に利用できる子育て支援・相談拠点となる施設
提言5	保護者も快適に過ごせる施設
提言6	お母さんにも、お父さんにも利用しやすい施設
提言7	地域の方とこどもたちが交流できる施設
提言8	幅広い年齢のこどもが利用できる施設
提言9	整備場所について

「こども・子育て交流施設整備9つの提言」は次のとおりです。

こども・子育て交流施設整備 9つの提言

(子育て分科会)

はじめに

- この提言書は、子育て中の市職員13名からなる「こども・子育て交流施設整備推進庁内会議 子育て分科会」で作成しました。
- 提言書の作成にあたり、近隣施設の視察や職員アンケート等を踏まえ、子育て中の保護者目線で、実際に必要と感じている機能等について意見出しを行いました。
- 提言書は、「こども」「保護者」「地域との関り」の3つの視点のほか、整備場所に関して、子育て分科会としての意見を整理しています。
- 実現には、財源をはじめ多くの課題がありますが、子育て支援に関する拠点施設を整備し、総合計画後期基本計画に掲げる重点的かつ横断的な取組の一つ「子どもを生き育てやすい環境づくり」の実現をお願いします。

目次

1. こどもの健やかな成長を促す遊びの環境づくり
 - 提言1 季節や天候に左右されず、こどもたちが思いっきり走り回り、自由に遊べる施設
 - 提言2 たくさんのこどもが、同じ空間で思い思いに遊べる施設
 - 提言3 能代らしさを感じることが出来る施設
2. 保護者が安心して子育てができる環境づくり
 - 提言4 気軽に利用できる子育て支援・相談拠点となる施設
 - 提言5 保護者も快適に過ごせる施設
 - 提言6 お母さんにも、お父さんにも利用しやすい施設
3. 地域の多様な世代が関わる子育て環境づくり
 - 提言7 地域の方とこどもたちが交流できる施設
 - 提言8 幅広い年齢のこどもが利用できる施設
4. 整備場所について
 - 提言9 整備場所について

1.こどもの健やかな成長を 促す遊びの環境づくり

提言1

季節や天候に左右されず、こどもたちが思いっきり走り回り、
自由に遊べる施設



(提言の理由)

・市内の遊び場は、河畔公園に大型遊具が整備されていますが、季節や天候を問わずこどもが遊べる施設が少なく、休日は多くの親子連れが市外の施設を利用しています。

・こどもの健やかな育ちのためには、年間を通じてこどもたちが走り回り、自由に遊べる施設が必要です。

(考えられる機能等)

・大型遊具、アスレチック、ザイルクライミング、ボルダリング、トランポリン等。

・走り回れる空間（体育館、土床（ビニールハウス等簡易なもの）、水遊び空間等）。

・屋内の遊び場の整備の際は、屋外の遊び場の併設も望ましい。

提言2

たくさんのこどもが、同じ空間で思い思いに遊べる施設



(提言の理由)

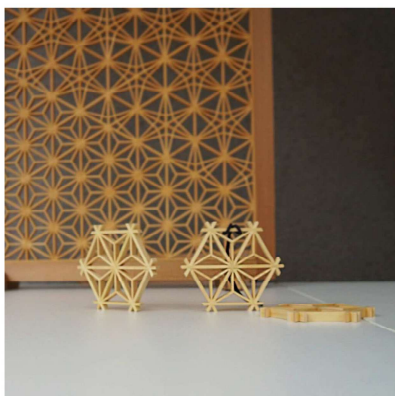
- ・体を動かすことが苦手なこどもも、楽しめる施設が必要です。
- ・体を動かすだけでなく、本を読んだり、自由に絵を書いたり、工作づくりなどの体験もこどもの健やかな育ちのため、幼少期には必要です。
- ・また、保護者の負担軽減の観点から異年齢の兄弟が別々の遊びをしても目が行き届くよう、配慮が必要です。

(考えられる機能等)

- ・ままごと、積み木等の遊び場空間。
- ・工作室（お絵かき、工作等）。
- ・職業体験、料理教室等の企画等。
- ・遊び場空間配置の配慮。

提言3

能代らしさを感じることが出来る施設



(提言の理由)

- ・木のぬくもりや、エネルギー（風力発電、水素など）、宇宙など、能代らしさに触れ、遊びの中で能代市の特色を学ぶことが出来る施設を作ることで、他の地域の遊び場との差別化が図られます。

(考えられる機能等)

- ・木のぬくもりが感じられる施設設計・遊具配置。
- ・エネルギー、宇宙のまち等能代の産業や特色を遊びの中で学び、体験できる遊びの機能。

2.保護者が安心して 子育てができる環境づくり

提言 4

気軽に利用できる子育て支援・相談拠点となる施設



(提言の理由)

・子育て世帯の市役所への訪問機会が多いとは言えません。

・必要とする人に必要な支援が届くよう、多くの親子連れが来訪する遊び場に併設された、子育て支援・相談拠点の整備が必要です。

(考えられる機能等)

・遊び場に併設した行政機能（子育て支援課、子育て支援センター、相談窓口）、情報発信ブース等。

・調理室（離乳食料理教室の開催等）。

提言 5

保護者も快適に過ごせる施設



(提言の理由)

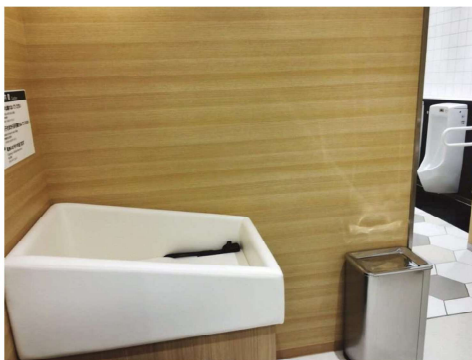
- ・子育てに追われる保護者にも休息の時間は必要です。
- ・子どもを見守りながら保護者が休憩できるスペース（居場所）の確保も必要です。
- ・また、ベビーカー等を配慮した余裕ある空間整備（駐車場、通路など）が必要です。

(考えられる機能等)

- ・休憩・飲食スペース（自販機等軽食も販売）。
- ・親同士の相談（雑談）スペース。
- ・ベビーカー出入や悪天候も利用しやすい駐車場。
- ・トイレも子どもを見守れるつくり。
- ・Wifi、ミルク用お湯等の基本的機能。

提言 6

お母さんにも、お父さんにも利用しやすい施設



(提言の理由)

- ・最近では、子育てに熱心なお父さん（イクメン）が増えています。
- ・お父さんと子どもだけでも入りやすい授乳室や、男子トイレへのおむつ交換台等の整備の必要性が増しています。
- ・また、お母さんも安心して利用できる施設にするための配慮も必要です。

(考えられる機能等)

- ・お父さんにも配慮した授乳室（お父さんも入りやすい）や男子トイレにもおむつ交換台の設置。
- ・お母さんが安心して利用できるよう、お母さん専用の空間や鍵付きの個室授乳室、女性トイレ内に男児用便器の設置など。

3.地域の多様な世代が関わる 子育て環境づくり

提言 7

地域の方と子どもたちが交流できる施設

(提言の理由)

・地域に暮らしている人々の経験や特技を活かせる機会を作り、子どもの遊びを促すことで、子どもの遊びの刺激が高まります。

(考えられる機能等)

・多世代交流機会（スポーツ、市民農園等）の提供。

提言 8

幅広い年齢の子どもが利用できる施設

(提言の理由)

・安全面から年齢に合わせ遊び場を分けることが必要ですが、年が離れた子どもが一緒に楽しめる遊び場が同じ空間の中にあることで、異年齢の子どもの交流が生まれ刺激に繋がります。また、保護者の負担軽減にも繋がります。

・中高生が放課後に学習したり、小さい子どもと触れ合うことが出来る空間（中高生の居場所）が必要です。

(考えられる機能等)

・遊具の年齢幅に工夫を。（“みっしゅ”のように。）

・中高生も利用できるフリースペース等。

4. 整備場所について

提言 9

整備場所について

整備場所については以下の意見がありました。

(主な意見)

- ・候補地として「河畔公園」「北高跡地等の中心市街地」「東部地区」「廃校舎や民間施設の活用」等、様々な意見がありました。
- ・基本的に小さな子どもがいる世帯は自動車での移動が多くなり、どこに整備されても施設利用に大きな支障は生じません。
- ・一方、小中高校生を対象に考えた場合、「自転車で移動可能な範囲」や「近所に」といった意見のほか、「遊び場へのシャトルバスの運行が望ましい」との意見がありました。

(提言)

- ・以上を踏まえ、0歳児からの利用が想定される“子ども・子育て交流施設”の整備場所については、特定の候補地の提言は行わないこととし、土地利用上の課題や周辺施設との繋がり、地域への波及等も考慮し候補地の決定をお願いします。
- ・また、小中高生の居場所づくりの観点からは、各地域に遊び場や居場所（遊び場等）があることが望ましいと考えます。今後新たな公共施設の整備・改修等の際は、規模に関わらず遊び場等の併設の検討をお願いします。
- ・各地域への整備が難しい場合は、遊び場への移手段の確保について検討をお願いします。

資料5 これまでの経緯

本市のこども・子育て交流施設の整備に向けたこれまでの経緯は下表のとおりです。

表 これまでの経緯

日付	実施項目
令和6年5月28日	第1回こども・子育て交流施設整備推進庁内会議 (以下「庁内会議」という。)
令和6年5月31日	第1回こども・子育て交流施設整備推進庁内会議子育て分科会 (以下「庁内会議子育て分科会」という。)
令和6年7月4日	第2回庁内会議
令和6年7月9日	第2回庁内会議子育て分科会
令和6年8月28日	第3回庁内会議子育て分科会
令和6年11月8日	第3回庁内会議
令和6年11月下旬	第4回庁内会議
令和6年11月	能代市こどもの遊び場整備基本方針 策定
令和7年7月29日～ 8月15日	子育て世帯アンケート調査の実施
令和7年9月8日～ 9月19日	子育て支援団体等へのヒアリング調査の実施
令和7年11月6日	第1回こどもまんなかエリア整備基本計画に係る庁内検討会議
令和8年2月9日	子ども・子育て会議
令和8年2月20日	第2回こどもまんなかエリア整備基本計画に係る庁内検討会議
令和8年3月	能代市こどもまんなかエリア整備基本計画 策定

能代市「こどもまんなかエリア」整備基本計画

令和8年3月

能代市 市民福祉部 子育て支援課 こども福祉係

〒016-8501 秋田県能代市上町1-3

TEL 0185-89-2946